

「XMLが障害児教育を救う」
～拡大教科書の問題を中心に～

筑波大学附属視覚特別支援学校 宇野和博

I. はじめに

- ・情報の伝達とは？
- ・知る喜び、伝える喜び
- ・石碑、口伝、活版印刷
- ・情報の差と価値

II. 弱視と拡大教科書

- ・障害とは？
- ・弱視とは？
- ・弱視児童・生徒数
- ・十人十色、多種多様
- ・読書困難度 10～90%
- ・選択の自由と QOL
- ・広がるニーズ

III. これまでの経緯

- ・2003年 著作権法改正
- ・2004年 予算措置による小・中学校における拡大教科書・点字教科書無償給与開始
- ・2006年 特別支援教育開始、国会付帯決議、小坂文科大臣書簡
- ・2008年 渡海文科大臣書簡、教科書バリアフリー法成立、拡大教科書普及推進会議
- ・2009年 高校段階における拡大教科書標準規格検討会

IV. 障害者・高齢者との共生社会の中で

- ・みんなが暮らしやすい社会とは？ 「ハードとソフト」「移動と情報アクセス」
- ・国連障害者権利条約と諸外国の状況
- ・急がば回れ 「one source, multi use」
- ・教科書バリアフリーから読書バリアフリー、情報バリアフリー